

# 株式会社田方自動車学校

## T. D. S.

### 免許と資格のテーマパーク!



▲笑顔で話す小林社長

**新たな取り組み**  
田方自動車学校は生徒に運転技術や知識を教えるだけでなく、様々な産業機械の資格の取得ができる技能教育機関である「T.D.S.テクニカルセンター」の運営なども行っている。そこで小林さんについて聞くと「近年では運送業の人材不足が問題になっている。本校で資格を

## 地域に密着した事業

取得し、県内の企業で活躍する人材を育成できたら嬉しい。多くの事業を通して、現代社会の課題や地域貢献に関わっていききたい」と語った。

### 乗り物を通して

田方自動車学校の地域貢献活動の一つにT.D.S.フェスティバルがある。これは、屋台やパフォーマンスなどのイベントを田方自動車

株式会社田方自動車学校は、東部や伊豆地域からの生徒が来る自動車教習所であり、地域貢献活動も積極的にしている企業の一つだ。そこで、代表取締役社長の小林淳一郎さんに会社の取り組みについて話を聞いた。

また、技能教育機関であるT.D.S.テクニカルセンターのセンター長の高田幸博さんに施設の特徴について取材した。



▲田方自動車学校



▲教習コース

## 備えあれば憂いなし！ 東部危機管理局

静岡県東部危機管理局は、地域の様々な災害に対して被害を最小限にとどめるための、「減災」を目指す活動を行っている。そこで、危機管理課の牧田晋吾主任に話を聞いた。

東部危機管理局は南海トラフ巨大地震をはじめ、静岡県に想定される様々な災害から県東部を守るための防災機関だ。防災活動の中には、高校や特別支援学校に出向いて行う防災講座があり、これにより児童生徒の防災意識向上を目指している。そこで、講座を担当している牧田主任に「地域を守る」という仕事について話を聞いた。



▲説明する牧田主任

牧田主任は「講座を受けた児童生徒が学んだ知識を家族や友人に広めていくことで、災害時にひとりでも多くの人が助かるかもしれない」と考え、自分の仕事に誇りを感じると想いを述べた。静岡県は東部に限らず地震などの災害が懸念されるため、他都道府県へ移住してしまつてもいい。東部危機管理局は、防災対策や講座による防災意識の向上により、たとえ災害が起こつたとしても「東部は安心だ」と心から思ってもらえるような町づくりを目指している。

学校の行い、地域の人と触れ合う機会を増やそうというものだ。小林さんに地域への思いを聞くと「周辺の路上で教習車を走行させられるのは地域の皆様のご理解があつてのこと。フェスティバルなどで少しでも恩返しができるように」と語った。また、レンタルバイク



玉掛けの講習を受ける生徒

玉掛け、フォークリフト、小型移動式クレーン・床上操作式クレーン、車両系建設機械・高所作業車がある。約四〜五

**技能を学ぶ**  
**多様な資格**  
静岡労働局長登録教習機関T.D.S.テクニカルセンターは、就職後すぐに役に立つ人材を育成するため、常設された技能教育機関だ。取得可能な資格は、玉掛け・フォークリフト・小型移動式クレーン・床上操作式クレーン・車両系建設機械・高所作業車がある。約四〜五日以内で取得でき、全資格の知識がない人でも専門の講師が教えてくれるので安心だ。また、より短い期間で取得できる「特別講習」は新卒の高校生や大学生にオススメだ。

**人材育成**  
技能資格訓練を行うテクニカルセンターの主な取り組みについて、センター長の高田さんは「本施設で資格を学ぶ生徒は、県内からの受講生が多い。そのため、資格を取った生徒たちが資格を利用して、県内で働くことを手助けして、地域貢献に繋がっている。これらの資格は、すぐに修了証が交付されるため、取得当日から働けるのも魅力だ。今まで本施設が輩出した資格取得者は累計で数千人に上り、中には有名企業に就職を決めた人もいる。今後も他企業との連携を一層強め、実践力と更なる人材育成を目指し、地域に輩出していききたい」と教えてくれた。